

2017 年度

関西大学日本語・日本文化教育プログラム
語学留学コース

受講案内

2017 年 4 月受講開始

募集期間：2016 年 9 月 7 日（水）～10 月 26 日（水）必着

2017 年 9 月受講開始

募集期間：2017 年 3 月 8 日（水）～4 月 26 日（水）必着

関西大学国際教育センター

目 次

関西大学について	1
I 関西大学日本語・日本文化教育プログラム語学留学コースの概要	1
1 概 要	1
2 特 長	1
3 受講期間および受講開始時期	2
4 授業内容	2
II 募集の概要	4
1 募集人数	4
2 申込資格	4
3 スケジュール	4
4 募集期間および申込方法	4
5 申込上の注意	4
6 申込書類	5
7 受講手続（受講料の納入）	6
8 受講料（2017年度受講生）	6
III 在留資格取得に関する事項	6
1 在留資格取得に関する手続き	6
IV 生活案内	7
1 住 居	7
2 生活費	7
3 保険・医療	7
申込書類チェックシート	8

■申込様式

- 日本語・日本文化教育プログラム語学留学コース受講申込書
（様式①-1、①-2、①-3、①-4）
- 健康診断証明書（様式②）
- 在留資格認定証明書交付申請書
 - 申請人等作成用 1
 - 申請人等作成用 2 P（留学）
 - 申請人等作成用 3 P（留学）

関西大学について

2016年に創立130年を迎えた関西大学は、13の学部と13の大学院研究科、3つの専門職大学院をもつ日本屈指の私立大学で、800人以上の留学生を含む約30,000人の学生が学んでいます。

関西大学のキャンパスは5つあり、いずれも西日本最大の都市である大阪に位置しています。大阪は、歴史的な遺産が数多く残る京都や奈良に隣接していますので、留学生の皆さんは、関西大学に留学しながら日本のさまざまな歴史や文化に触れられることでしょう。

I 関西大学日本語・日本文化教育プログラム語学留学コース(以下、JLC)の概要

1 概要

JLCは、関西大学千里山キャンパスで実施します。千里山キャンパスは、大阪の中心地から電車で約20分と大変便利なばかりでなく、緑も多く静かで豊かな学習・生活環境が整った地にあります。35万m²の広大な敷地に、関西大学の10学部・10大学院研究科・3専門職大学院の教育研究施設を備えています。

JLCは、海外の大学・大学院に在籍する学生を対象に、日本語・日本事情などを教授することを目的としています。授業科目は「日本語科目」と「日本研究科目」に分かれ、「日本語科目」は日本語で、「日本研究科目」は英語で授業を行います。

また、英語で実施される様々なテーマの教養科目が受講できます。

2 特長

JLCには、以下のような特長があります。

(1) 初級から日本語を勉強することができます。

JLCの日本語科目は、日本語を初めて学ぶレベル1から最上級のレベル6まで用意されており、受講者は習熟度に合わせたレベルの授業を受けることができます。

(2) 多彩な日本研究科目を英語で学ぶことができます。

JLCでは、日本語科目のほか、英語で授業を行う多彩な日本研究科目を用意しています。歴史、文化、文学、社会、政治・経済、科学・技術など、さまざまな観点から英語で日本を学び、その知見を深めることができます。

(3) 様々なテーマの教養科目を受講できます。

受講生は、英語で行なうこれら科目を通じて、グローバルビジネスやグローバル人材として必要となる高度なコミュニケーション能力、問題解決能力について学ぶことができます。

(4) 関西大学の寮に住み、さまざまな学生とともに学ぶことができます。

JLCが実施される千里山キャンパスから自転車で20分ほど離れた場所に関西大学南千里国際学生寮があり、JLCの受講生は、入寮を申請することができます。この寮では、関西大学の学生がレジデント・アシスタント(Resident Assistant)として受講生と共に生活し、受講生の日常生活をサポートしています。

(5) 「関西大学コミュニティー」の一員となります。

JLCの受講生は、関西大学コミュニティーの一員として学生生活を送ることになり、日本人学生や交換留学生などとともにさまざまなアクティビティに参加することができます。また、受講生一人ひとりに受講生証が発行され、図書館、ITセンターといった関西大学の施設を利用することができます。

3 受講期間および受講開始時期

受講期間は1学期（半年）または2学期（1年）です。

セメスター制を採用しているため、春学期（4月～9月）または秋学期（9月～翌年3月）のいずれの学期からでも受講を開始することができます。

4 2016年度授業内容（ご参考）

(1) 開設科目（開講科目は変更の可能性があります。）

「日本語科目」 ※日本語で授業を行います。

授業科目	授業時間数
日本語（読む・書く）1、2、3、4、5、6	3時間／週×15週間
日本語（聞く・話す）1、2、3、4、5、6	3時間／週×15週間
コンテンポラリー・ジャパン（各テーマ）	1.5時間／週×15週間
日本社会のコミュニケーション（各テーマ）	1.5時間／週×15週間

※言語能力レベル（日本語習熟度レベル）に合わせた4技能（読む・書く・聞く・話す）の習得をめざすクラスです。オリエンテーション時に行うプレースメントテストによって、受講クラスを決定します。

※コンテンポラリー・ジャパンおよび日本社会のコミュニケーションは、十分な日本語能力を有する学習者対象の科目であり、日本語能力の受講条件を課します。

「日本研究科目」 ※英語で授業を行います。

〈2016年度春学期開講科目〉

授業科目	授業時間数
Japanese Philosophy and Thoughts	1.5時間／週×15週間
Japanese History	1.5時間／週×15週間
Japanese Literature	1.5時間／週×15週間
Japanese Culture	1.5時間／週×15週間
Comparative Asian Cultures Studies	1.5時間／週×15週間
Japanese Industries and Companies	1.5時間／週×15週間
Japanese Science and Technology	1.5時間／週×15週間
Japanese Popular Culture	1.5時間／週×15週間
Seminar in Japanology	1.5時間／週×15週間

〈2016年度秋学期開講科目〉

授業科目	授業時間数
Japanese Religion	1.5時間／週×15週間
Japanese Arts	1.5時間／週×15週間
Japanese History	1.5時間／週×15週間
Japanese Literature	1.5時間／週×15週間
Japanese Culture	1.5時間／週×15週間
Japanese Law and Politics	1.5時間／週×15週間
Japanese Economy	1.5時間／週×15週間
Japanese Society	1.5時間／週×15週間
Seminar in Japanology	1.5時間／週×15週間

「教養科目」

※英語で授業を行います。

〈2016 年度春学期開講科目〉

授業科目	授業時間数
Disaster Transport Planning	1.5 時間／週×15 週間
Biotechnology and Bioethics	1.5 時間／週×15 週間
Marketing of Food, Alcohol and Cosmetics	1.5 時間／週×15 週間
Science of Washoku (Japanese Cuisine)	1.5 時間／週×15 週間
Second Language Acquisition	1.5 時間／週×15 週間
Early Foreign Language Education	1.5 時間／週×15 週間
Structure of Language (discourse and meaning)	1.5 時間／週×15 週間
International Development	1.5 時間／週×15 週間
Area Studies (Europe I)	1.5 時間／週×15 週間
Area Studies (India)	1.5 時間／週×15 週間
Critical Thinking for Social and Global Issues	1.5 時間／週×15 週間
Research Methods for Social Sciences	1.5 時間／週×15 週間
Global Sociology	1.5 時間／週×15 週間
Environmental Biology	1.5 時間／週×15 週間
Information and Communication Technologies	1.5 時間／週×15 週間
Foundation for Academic English	1.5 時間／週×15 週間
Academic Writing Practice	1.5 時間／週×15 週間
Academic Discussions and Debates	1.5 時間／週×15 週間
Presentation Skills	1.5 時間／週×15 週間
TOEFL Score up Training I	1.5 時間／週×15 週間
TOEFL Score up Training II	1.5 時間／週×15 週間
ASEAN Studies	1.5 時間／週×15 週間
Cross-Cultural Competence	1.5 時間／週×15 週間
KUGF Independent Study (English Skills Development)	1.5 時間／週×15 週間
KUGF Independent Study (Doing a research in English)	1.5 時間／週×15 週間

〈2016 年度秋学期開講科目〉

授業科目	授業時間数
Engineering Seismology	1.5 時間／週×15 週間
Hydrosphere Disaster Analysis	1.5 時間／週×15 週間
Education for Disaster Reduction	1.5 時間／週×15 週間
Disaster Management Economics and Public Policy	1.5 時間／週×15 週間
Food Safety	1.5 時間／週×15 週間
Polysaccharide Science	1.5 時間／週×15 週間
Food Production and Supply in Global Societies	1.5 時間／週×15 週間
International Business for Entrepreneurs	1.5 時間／週×15 週間
Business and Japanese People	1.5 時間／週×15 週間
Marketing in Japan	1.5 時間／週×15 週間
Individual Differences in Language Learning	1.5 時間／週×15 週間
Educational Technology and Materials Development in Foreign Language Teaching	1.5 時間／週×15 週間
Linguistic Analysis (English)	1.5 時間／週×15 週間
Linguistic Analysis (Japanese)	1.5 時間／週×15 週間
International Business Communication	1.5 時間／週×15 週間
International Development	1.5 時間／週×15 週間
Area Studies (Europe II)	1.5 時間／週×15 週間
Critical Thinking for Social and Global Issues	1.5 時間／週×15 週間
Research Methods for Social Sciences	1.5 時間／週×15 週間
Environmental Biology	1.5 時間／週×15 週間
Information and Communication Technologies	1.5 時間／週×15 週間
Foundation for Academic English	1.5 時間／週×15 週間
Academic Writing Practice	1.5 時間／週×15 週間
Academic Discussions and Debates	1.5 時間／週×15 週間
Presentation Skills	1.5 時間／週×15 週間
TOEFL Score up Training I	1.5 時間／週×15 週間
TOEFL Score up Training II	1.5 時間／週×15 週間
ASEAN Studies	1.5 時間／週×15 週間
Cross-Cultural Competence	1.5 時間／週×15 週間

(2) 受講要件

JLC の受講生は、1 学期につき、週 10 時間以上の授業を受講しなければなりません。

※英語を母語とする者、または英語を母語としない者は TOEFL・PBT 520 点、iBT 68 点程度の英語能力を有することが望ましい。

(3) 2016 年度学年暦（ご参考）

	2016 年度春学期（4 月～9 月）	2016 年度秋学期（9 月～3 月）
入寮日	2016 年 3 月下旬	2016 年 9 月上旬
オリエンテーション	2016 年 3 月下旬～4 月 4 日	2016 年 9 月上旬～20 日
授業開始	2016 年 4 月 5 日	2016 年 9 月 21 日
授業終了	2016 年 7 月 21 日	2017 年 1 月 21 日
試験	2016 年 7 月 22 日～7 月 29 日	2017 年 1 月 23 日～30 日
修了式	2016 年 7 月下旬	2017 年 1 月下旬
退寮日	2016 年 8 月下旬	2017 年 1 月下旬
成績発表	2016 年 9 月上旬	2017 年 3 月中旬
学期終了	2016 年 9 月 20 日	2017 年 3 月 31 日

II 募集の概要

1 募集人数 25 名程度

2 申込資格 次の(1)から(3)の条件をすべて満たす者。

- (1) 外国籍を有し、外国において通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者。
- (2) 関西大学が指定する外国の大学または大学院に在籍している者。
- (3) 留学に要する経費の支弁能力を有する者。

3 スケジュール

	4 月受講開始	9 月受講開始
申込書類送付	2016 年 10 月 26 日必着	2017 年 4 月 26 日必着
受講許可決定	2016 年 12 月下旬	2017 年 6 月下旬
査証（ビザ）申請	2017 年 2 月頃	2017 年 8 月頃
日本入国	2017 年 3 月下旬	2017 年 9 月上旬

4 募集期間および申込方法

- (1) 募集期間 4 月受講開始：2016 年 9 月 7 日（水）～2016 年 10 月 26 日（水）
9 月受講開始：2017 年 3 月 8 日（水）～2017 年 4 月 26 日（水）

(2) 申込方法

申込は先着順です。受講希望者は、申込書類を整える前に、在籍大学を通じて、申し込み可能かどうか、関西大学国際教育センターに定員の状況を確認してください。申し込みが可能であることを確認後、すべての申込書類が募集期間の最終日までに本学に届くよう、在籍大学を通じて、最終ページに記載の住所に送付してください。

5 申込上の注意

- (1) 在籍大学を通じて、申込書類を提出してください。
- (2) 特に指定のある場合を除き、日本文または英文以外の書類には、必ず申込者の責任で 在籍大学の証明による 日本語訳または英訳をつけてください。
- (3) 申込書類に虚偽の記載があった場合は、受講を認めません。また、受講決定後に虚偽の記載があることが判明した場合は、受講許可を取り消します。
- (4) 申込書類における証明書等は、特に指定のある場合を除き、すべて原本を提出してください。
- (5) 本学が必要と認めた場合、所定外の書類の提出を求める場合があります。
- (6) 提出された書類は、原則として返却しません。

- (7) 査証申請等の際に必要なことがありますので、申込書類一式の写しを各自保管してください。

6 申込書類

- (1) 受講申込書（本学所定の用紙）

申込者本人が日本語または英語で記入し、保証人（経費支弁者）の署名および在籍する大学・大学院の留学担当機関から推薦を証明する署名を得てください。

- (2) 在籍する大学または大学院の在籍証明書

- (3) 在籍する大学または大学院の成績証明書

- (4) 日本語能力に関する証明書の写し

「日本留学試験（日本語）」または「日本語能力試験」または「実用日本語検定（J.Test）」を受験した者は、その成績証明書の写しを提出してください。

- (5) 英語能力に関する証明書の写し

英語を母語としない者で TOEFL を受験したものは、その成績証明書の写しを提出してください。

- (6) 健康診断証明書（本学所定の用紙）

医師により、日本語または英語で記載してください。

- (7) 在留資格認定証明書交付申請書（日本国政府法務省所定の用紙）

- (8) パスポートの写し

パスポートの顔写真・氏名が記載されているページの写し、および日本への出入国歴が有る者は出入国歴が記載されている全てのページの写しを提出してください。（パスポートを所有していない場合は、政府またはこれに準じる機関の発行した身分証明書の写しを提出してください。）

- (9) 写真

6枚（縦4cm×横3cm）の裏面に氏名を記入し、1枚を受講申込書に、さらに1枚を在留資格認定証明書交付申請書に貼付し、残りの4枚を封筒に入れて提出してください。なお、写真は最近3カ月以内に撮影したカラー写真で、正面、上半身脱帽で無背景のものに限ります。

- (10) 経費支弁に関する書類

経費支弁者が複数の場合は、全員について記入してください。

申込者本人が経費を支弁する場合

- ① 本人名義の預金残高証明書（日本に送金可能な銀行および通貨の証明書）

受講料+生活費（目安：月額100,000円×半年または1年）以上の残高があるものを提出してください。

- ② 在職証明書 ③ 年収証明書

申込者本人の親族等が本国から送金・携行する場合

- ① 保証人（経費支弁者）本人名義の預金残高証明書（日本に送金可能な銀行および通貨の証明書）

受講料+生活費（目安：月額100,000円×半年または1年）以上の残高があるものを提出してください。

- ② 在職証明書 ③ 年収証明書

- ④ 本人との関係を証明する文書

戸籍謄本、住民票、親族公証書等のうち、いずれかを提出してください。

日本在住者が経費を支弁する場合

- ① 保証人（経費支弁者）本人名義の預金残高証明書（日本に送金可能な銀行および通貨の証明書）
受講料+生活費（目安：月額100,000円×半年または1年）以上の残高があるものを提出してください。
- ② 所得証明書
源泉徴収票または総所得金額の記載のある課税証明書を提出してください。
- ③ 在職証明書
自営業の場合は、登記簿謄本の写し、営業許可書、または受付印のある確定申告書控の写し等を提出してください。
- ④ 住民票
- ⑤ 本人との関係を証明する文書
経費支弁者が本人の親族の場合は、戸籍謄本、住民票、親族公証書等のうち、いずれかを提出してください。経費支弁者が知人・友人の場合は、本人との関係を記した説明書、一緒に写っている写真等を提出してください。

奨学金による場合

- ① 奨学金給付額、給付期間、給付機関が記載された証明書を提出してください。

7 受講手続（受講料の納入）

申込書類を精査したうえで、申込メ切日から約2ヶ月以内に、在籍大学宛、受講手続書類を送付します。受講希望者は、受講手続書類に従い、所定の期日までに1学期分の受講料（500,000円）を納入してください。所定の期日までに受講手続を完了しない場合は、受講を許可しません。

8 受講料（2017年度受講生）

受講料は1学期につき500,000円です。

やむを得ない理由で、受講を辞退する場合は、4月受講開始の場合は2017年3月31日（金）まで、9月受講開始の場合は2017年9月20日（水）までに受講辞退を願い出た者に限り、すでに納めた受講料の返還を請求することができます。

身体の機能に障がいのある人等は、その程度に応じ、授業の受講に際して特別な配慮をする必要がありますので、申込に先立ち、関西大学国際教育センターに必ず申し出てください。

Ⅲ 在留資格取得に関する事項

1 在留資格取得に関する手続

留学生として日本に滞在するためには、原則として「留学」の在留資格を取得する必要があります。申込者が受講手続を完了した後、本学が在留資格「留学」を取得するために必要な「在留資格認定証明書（留学）」交付の代理申請を行います。

「在留資格認定証明書（留学）」が交付され次第、「受講許可書」とともに在籍大学宛に送付しますので、申込者は、速やかに現地にある日本国大使館または総領事館に行き、査証申請手続を行ってください。

- (1) 在留資格「留学」以外の資格の代理申請は行いません。「留学」以外の在留資格で日本に滞在することを希望する場合は、申込者本人が直接、日本の入国管理局に相談してください。
- (2) 受講手続を期間内に完了しない場合は、「在留資格認定証明書（留学）」の送付が遅れ、

入国に支障が出ますので注意してください。

- (3) 代理申請の可否については、申込書類を基に本学が判断します。その結果、必要に応じて経費支弁能力等を立証するための追加書類を提出していただく場合があります。代理申請の可否について本学に対し異議を申し立てることはできません。
- (4) 「在留資格認定証明書（留学）」の交付は日本国法務省が行いますので、不交付となった場合、大学は責任を負うことはできません。不交付となった場合は、日本に滞在する資格を持たないため、本コースを受講することはできません。また、在留資格「短期滞在」で日本に滞在し、本コースを受講することは認めませんので注意してください。
- (5) 過去に在留資格認定証明書の交付を受けられなかった者は、その事由が解除されない限り、新たに申請しても証明書は交付されません。不交付歴のある者は、必ず申込前に、関西大学国際教育センターに申し出てください。

IV 生活案内

1 住居

JLCが実施される関西大学千里山キャンパスから自転車で20分ほど離れた場所に関西大学南千里国際学生寮があり、JLCの受講生は、入寮を申請することができます。この寮では、関西大学の学生がレジデント・アシスタント（Resident Assistant）として受講生と共に生活し、受講生の日常生活をサポートしています。

関西大学南千里国際学生寮（全144室）	
寮内設備等	<input type="checkbox"/> 寮室は全て個室とし、寮生のプライバシーを確保しています。 <input type="checkbox"/> 全寮室に、机・椅子・ベッド・クローゼットのほか、冷暖房・インターネット（有線LAN）を完備しています。 <input type="checkbox"/> 関西大学のレジデント・アシスタント（Resident Assistant）が受講生の日常生活をサポートします。
寮費等	入寮費：15,000円 寮費：月額30,000円（光熱水費・寝具代・インターネット回線料等を含む。） ※寮費等は毎年度見直しを行ないます。
共用施設	多目的室、シャワールーム、トイレ、洗面室、コインランドリー、キッチン等

※ 寮には定員がありますので、先着順で申し込みを受け付け満員になったときは外部の寮・アパート等を紹介します。

2 生活費

大阪で生活するためには、住居費を含めて少なくとも月額100,000円程度必要です。滞在中の資金計画を立てる場合は、このことを十分考慮しておいてください。

3 保険・医療

(1) 関西大学保健管理センター

千里山キャンパスに、医師・保健師・看護師が健康相談に応じる保健管理センターを設置しています。また、同じく千里山キャンパスに、専門カウンセラー等がカウンセリングを行う心理相談室を設けています。

(2) 国民健康保険

日本に3カ月を超えて滞在する外国人は、国民健康保険に加入する義務があります。

年額25,000円程度（関西大学がある吹田市の場合）の保険料を支払う必要がありますが、国民健康保険に加入すると、保険医療機関などで診療または薬の処方を受けた際、医療費の70%が国民健康保険によって補助され、一部負担金として医療費の30%を支払うだけで済みます。

申込書類チェックシート

申込書類	本人 確認欄
(1) 受講申込書（様式①-1、①-2、①-3、①-4）	
(2) 在籍する大学または大学院の在籍証明書	
(3) 在籍する大学または大学院の成績証明書	
(4) 「日本留学試験（日本語）」または「日本語能力試験」または「実用日本語検定（J. Test）」を受験した者は、その成績証明書の写し	
(5) 英語を母語としない者で TOEFL を受験したものは、その成績証明書の写し	
(6) 健康診断証明書（様式②）	
(7) 在留資格認定証明書交付申請書（日本国政府法務省所定の用紙）	
① 申請人等作成用 1	
② 申請人等作成用 2 P（「留学」）	
③ 申請人等作成用 3 P（「留学」）	
(8) パスポートの写し	
(9) 写真 6 枚	
(10) 経費支弁に関する書類	
○ 申込者本人が経費を支弁する場合	
① 本人名義の預金残高証明書	
② 在職証明書	
③ 年収証明書	
○ 申込者本人の親族等が本国から経費を送金・携行する場合	
① 保証人（経費支弁者）本人名義の預金残高証明書	
② 在職証明書	
③ 年収証明書	
④ 本人との関係を証明する文書	
○ 日本在住者が経費を支弁する場合	
① 保証人（経費支弁者）本人名義の預金残高証明書	
② 所得証明書	
③ 在職証明書	
④ 住民票	
⑤ 本人との関係を証明する文書	
○ 奨学金による場合	
① 奨学金給付額、給付期間、給付機関が記載された証明書	

※ 在籍大学を通じて、申込書類を提出してください。

※ 特に指定のある場合を除き、日本文または英文以外の書類には、必ず申込者の責任で在籍大学の証明による日本語訳または英訳をつけてください。

関西大学国際教育センターでは、受講の申込にあたってお知らせいただいた個人情報（住所、氏名、電話番号など個人を特定しうる情報、以下「個人情報」という。）について、日本国の法令および関西大学個人情報保護方針に従って取り扱います。

個人情報の取扱いに関する重要事項をウェブサイトに掲載していますので、必ずご確認ください。<http://www.kansai-u.ac.jp/global/footer/privacy.html>

関西大学国際教育センター

〒 564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

電話：06-6368-1174 FAX：06-6330-3027

Email: ku-dia@ml.kandai.jp

Website: <http://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/>